

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会
ロシア東欧経済研究所東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9
購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成6年12月5日

No. 974

1994年1~9月の日ロ貿易 (商品別輸出入動向)

はじめに

このほど当会では、大蔵省関税局発表の通関実績にもとづいて、1994年1~9月の日本とロシアとの貿易の商品別輸出入動向をまとめたので、ここに紹介する。なお、付属資料として日本とCIS・東欧各国との1~9月の輸出入額を一覧にした表を掲載するので、あわせて参照されたい。

1994年に入ってから日ロ貿易は一進一退の動きをみせている。1994年1~9月の日ロ貿易は総額で32億9,240万ドルとなり、前年同期比5.5%の伸びであった。だが、円建て(3,410億円)でみれば前年同期比2.7%低下している点に注意する必要がある。

日本側の輸出は9億2,328万ドルで、前年同期比16.0%低下した。円建てでは961億円で、前年同期比22.2%の大幅減となる。1993年に若干盛り返した対ロ輸出だが、円高がこれに冷や水を浴びせた格好となった。とくに機械輸出では、ロシアでのテレコム部門の重視を反映して通信機器が伸びているものの、日本製のテレビや自動車は価格面での困難に直面しているようである。日本側の輸入は23億6,912万ドルで、前年同期比17.1%の伸びであった。円建てでは2,449億円で、前年同期比7.8%増である。輸入増に貢献しているのは、魚介類、石炭、非鉄金属などの主要品目である。

対ロ輸出の停滞により日ロ貿易のアンバランスはさらに顕著なものになっており、1~9月も日本側の14億4,583万ドル(1,487億円)の入超となった。